

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	57	事業名	平成こども塾事業	担当部課	建設部みどりの推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一項一目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画等		9-4-1 社会教育総務費	
	事業開始の背景、経緯等	平成11年に策定された第4次総合計画の柱の一つ。環境緑地系プロジェクトとして「長久手田園バレー構想」が実施された。その子ども版プロジェクトとして平成18年4月に「長久手町(現市)平成こども塾がオープンした。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・平成こども塾の施設管理・運営等を行う。 ・地域の環境や自然についての学習活動 ・学習活動を通じた地域住民との交流 ・学校連携活動
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 小、中学生
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 里山の豊かな環境を生かした体験活動による、子どもたちの感性や心・自然とのふれあい・生きる力・世代を超えたコミュニケーション能力の育成

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			事業費(A)	千円	予算 14,614	15,351	19,025
			決算 14,297	14,802	16,566		
人件費(B)	千円	決算	17,736	14,219	15,121	15,694	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	32,033	29,021	31,687	15,694	
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		4,342	4,224	1,934	2,455	-
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		7	8	9		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			参加者の満足度	%	目標 85	90	90
			実績 98	97	98	98	
(指標の設定根拠) 平成こども塾条例第1条(設置目的)を実現するにあたり、最も適切な指標であるため。			(数値目標の根拠) プログラム終了後に4段階評価のアンケートを実施し、上位2段階(とてもよかった、よかった)を満足度が高いと評価・集計して、90%以上を目指す。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標) 上記と同じ							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 参加者に大きなけがもなく、参加者の満足度も全体的に高かった。アンケートでは、(こどもが)初めての体験ができた、長久手の身近な自然に気付いた、里山の生態について良くわかった等の意見が多くあった。
	活動エピソード	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、緊急事態宣言期間中は休館してプログラムを中止した。その休館日を利用して、駐車場の車枠の設置や駐輪場への石板の敷設他、施設整備を行った。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっている。対策として生涯学習情報誌「スマイル」や平成こども塾ホームページへの募集記事掲載及び大人向け工作プログラムを実施することで講師の発掘、勧誘を行っている。学校連携講師に対しては、令和2年度から謝金額を上げて参加意欲が高くなるようにしたところ、現講師陣からも意欲が増す、友人を講師に誘いやすくなったと好評である。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	平成こども塾体験学習事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
			実績	5,579					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】	プログラム回数	見込	190	190	190	190	190	
			実績	140					
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間は休館としてその間のプログラムを中止した。また、令和3年度も継続して「食プログラム」を中止し、内容変更して事業を継続した。学校連携の活動においては、学校側と協議の上73回予定した内の38回を実施した。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事務事業②	長久手版プレーパーク整備事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	-	-	10	10	10	
			実績	-	-				
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】 長久手版プレーパーク整備事業	箇所	見込	-	-	-	-	-	
			実績	-	-				
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R3年度(2021))> プレーパークの実現に向け、名称の周知とプレーパーク実施者発掘のため、令和3年11月20日に講演会を実施した。また、プレーパーク実施に積極的であった市民グループは、その後、こども塾に活動希望がない状況である。なお本事業は、改善しつつ継続実施していく。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	事務事業③								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
			実績						
	(3)		見込						
			実績						
	<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成こども塾の施設管理・保全を定期的に行う。エアコンや給湯器等の大型設備機器の更新の時期を計る。プログラムへの参加者動向を把握して、内容をブラッシュアップする。平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業の講師の新規参加促進と育成を行う。
	中長期の目標	(いっしょまでに事業をどのような状態にしたいか) 2026年を見据えた方向性。1プログラム展開、2学校連携プログラムの充実、3子ども同士のコミュニケーションの促進(「平成こども塾マスタープラン」第5章平成こども塾の今後の方向性より一部抜粋)、4プログラム講師の若返りを順次図る。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革指針に係る「財政改革の推進」、「協働事業の拡大」、「市民参加の仕組みづくり」を踏まえ、引き続き事業に取り組んでください。
内部意見への回答		